

常進NEWS (5月号)

記述式を増やす意向

県教育委員会は先月25日、来春の県立校入試で記述式問題を増やす方針を明らかにしました。2020～21年の県立高校および中学・中等教育学校の入試で相次いで見つかった採点ミス防止のため、今春の入試では記述式問題を大幅に減らしました。その結果、高校入試においては、特に国語と社会で難易度が下がり、平均点が大幅にアップしました。森作宜民教育長は会見で「表現力が問えなくなっている」と指摘し、来年度は記述式を増やす方針を示しました。

こんなに易しかった国語と社会

今春の高校入試において特に易しくなったのが国語と社会です。国語の平均点は昨年を14.4点上回る78.05点でした。国語の平均点が70点を超えるのは、1997年(平成9年)以来、実に25年ぶりです。今年平均点はその25年前をも6点上回っており、過去最高レベルの易しさであったといえます。当塾において、土浦第二レベル以上の高校を受検した生徒は、全員が95点以上でした。

社会の平均点は61.48点で昨年を5.29点上回りました。過去10年で平均点が60点を上回ったのは2017年の1度だけです。国語ほどではないにせよ、例年よりも易しかったといえます。社会においても、当塾で土浦第二レベル以上の高校を受検した生徒は、全員が90点以上です。

記述式の出題と採点ミス防止の両立

選択式の問題を増やさざるを得ず、結果的に難易度の低下を招いたそもそもの原因は、昨年発覚した大量の採点ミスです。記述式を復活させることで、採点ミス防止との両立をどう図るのか。それに対する県教委の回答は、デジタル採点の導入です。

採点ミス問題を検証した第三者委員会は昨春、人手と機械を併せた効率的な採点を提言しました。これを受け導入を予定しているのが、OCR(光学的文字認識)です。OCRはスキャナーで読み取ったデータから、記号などの簡単な文字を判別し、自動採点することができます。記号選択問題の採点の自動化より、記述式問題の採点時間を確保するのが狙いとしています。

ただ、自動採点も人力によるダブルチェックが必要としています。また今春、特に難易度の下がった国語と社会においては、昨年は半数以上が記述式問題で、国語では作文も出題されていました。記述式問題の量を昨年並みにした場合、OCRの威力も限定的になってしまいます。表現力を問えるようにしながらも、採点者の負担を減らせるか、そのバランスが難しそうです。

記述式はどんな問題が出題されるの？

今春の県立入試では、採点ミスの再発防止・改善策として、不合格者(の希望者)に対し、郵送による解答用紙の写しの交付を行いました。これを来年度も実施する場合、正誤の黒白をつけることが難しい国語の作文や自由英作文の出題は難しいのではないのでしょうか。すると昨年度までとは違った出題形式になることが予想されます。県教委は7月下旬をめどに、中学校に配布するリーフレットで、出題例を伝える予定です。

大人の事情で受験生を振り回すべからず

今春の高校入試後に県教委が行った調査によると、「記述式の問題が必要」と答えた中学校は全体の約74%であったのに対し、答案を採点する高校側は約17%にとどまったとのことです。昨春発覚した採点ミスにより、1000人以上の教員が処分を受けた側からすると当然の結果ともいえます。しかし特に上位進学校では、ほぼ全員が90点以上をとる問題です。これが合否の判断材料として果たして適切なのでしょう。

今春の入試問題においては、作問において採点ミス防止に腐心するあまり、社会で出題ミスが発覚するというオチが付きましました。さらに問題とは関係ありませんが、石岡第一では合否判定を誤るというミスのおまけつきです。

新学習指導要領が求めるのは、「思考力、判断力、表現力」です。これらの力を測るに値する作問にもっとも重きを置くべきでしょう。そしてそういった力を養うために、まじめに取り組んだ受験生が報われるようなものであってほしく思います。大人の事情で受験生を振り回すようなことがあってはなりません。

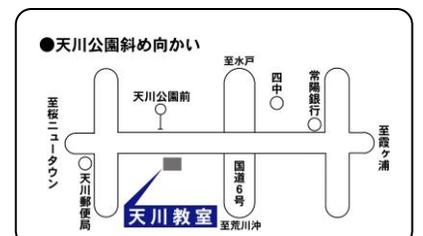
今春の入試結果の詳細(平均点や得点分布等)は、今月末に県教委から公表されます。来月はその内容をお伝えします。

5・6月の予定

月	日	曜	行事予定
5	16	月	小学生テスト週間(～20)
月	27	金	6月分授業料等口座振替日
6	11	土	統一テスト(9年生)
	12	日	統一テスト(7・8年生)
	18	土	前期中間テスト対策①
	19	日	前期中間テスト対策②
	月	20	月
月	27	月	7月分授業料等口座振替日

*6/17に予定していた漢字検定は、7/8に変更します。

めんどろみ 地域ナンバーワン宣言！
JOYO 常陽進研 ☎824-9136



思考力の九九

惨敗続きの私

小学生の百人一首は色分けされた 20 枚で対戦します。対戦が再開されたころは、下の句が読み上げられるまで待っていた子どもたちが、今は札の裏に書いてある上の句を必死に覚え、相手より先に取ろうとしています。学年違いで対戦するとその学年差がハンデになり、対戦終了時に学年が上の子が下の子にハンデ分の札を渡します。出席者数が奇数の日は、教師が対戦に加わります。私と生徒の場合、ハンデはなんと 6 枚！ 余裕なんてありません。私も必死です。しかし、あまりにも負けすぎて、高学年は「ハンデ 2 枚でいいよ」などとお情けをくださいます。恥も外聞もなく、ありがたくそのお情け頂戴しています。しかしながら戦績は・・・全敗です。

がんばりました！

名文暗誦 (4月の課題：漢詩 全 14 編)

14 編 ○○ ○○ ○○ ○○

11 編 ○○ ○○○

5 編 ○○ ○○ ○○ ○○ ○○○ ○○



名文暗誦ジュニア (4月の課題：短めの詩)

ころよ ○○ ○○

四月病？

四月になって小学生の宿題忘れが急に増えました。宿題忘れの常連は相変わらずですが、これまでちゃんとやってきた子たちの中で、宿題忘れの続く子が複数名現れ始めました。小学生の間では、五月病ならぬ四月病があるのでしょうか(五月病とは症状が異なりますが、同じ時期に同じ症状が出るという意味で)。

学校のクラス替えなどで環境が変わりペースを乱している子は、早く元に戻ってほしいですね。

GWの宿題

ゴールデンウィーク中に別途の宿題を出しました。文系教科は、7・8年生が英語、9年生は社会。

7年生は、間違いはありますが全員キチンとやってきました。9年生は数名の提出遅れがあり、授業後に残ってやっています。

8年生は全員提出済みだが・・・。

字が汚くて読めない。とりあえず答えが書いてあればいいだろうと、内容と答えが一致しない(でたらめ)。1問解いて2～3問空欄を繰り返す。



返し、やった体裁だけを整える。写し合ったことがバレバレの誰かさんと誰かさんのあり得ないほど一致する答え(間違え)。

やってはだめだよと言ったのに、やってはいけないことのオンパレード。渡すときに言った私がいけないのが、彼らに知恵をつけてしまったのは私なのか。後悔しつつ、間違い直しにどれくらい時間がかかるのだろうと考える。しばらく生徒たちの残業が続きそうです。

夏期講習 概要

夏期講習の概要が決定しました。コロナの影響による行動制限等で変更になる可能性があります。早めにお知らせします。小学生の日程は、例年通り選択方式です。

小 学 生	日程	タームⅠ：7/25(月)・26(火)・27(水)・28(木) タームⅡ：7/29(金)、8/1(月)・2(火)・3(水) タームⅢ：8/4(木)・5(金)・8(月)・9(火) タームⅣ：8/18(木)・19(金)・22(月)・23(火) タームⅤ：8/24(水)・25(木)・26(金)・29(月) *上記より2ターム以上を選択して受講
	時間	10:00～11:40
7 ・ 8 年 生	費用	1ターム：5,500円 2ターム：9,900円 3ターム：14,300円 4ターム：18,700円 5ターム：23,100円
	日程	夏期講習：7/25(月)～8/9(火) 水・土・日は休み 8月集中授業：8/18(木)～29(月) 土・日は休み 統一テスト：8/28(日)
9 年 生	時間	19:10～21:35
	費用	夏期講習：19,800円 8月集中授業：19,800円
	日程	夏期講習：7/22(金)～8/10(水) 土・日は休み 8月集中授業：8/18(木)～29(月) 土・日は休み 統一テスト：8/27(土)
9 年 生	時間	14:00～17:35
	費用	夏期講習：57,200円 8月集中授業：26,400円

GW呼び出し補習

演習の授業でやるべき再テストが溜まっている生徒を対象に、連休中に呼び出し補習を行いました。日程が合わず、呼び出しに依りられなかった生徒もいましたが、何名かはフル参戦で溜まっていた再テストを全て片付けました。

連休明けの最初の演習授業では、やるべき再テストがありませんから、真っ先に帰宅できる状態になります。こうなると焦るのが周りの生徒たち。「えっ、〇〇、もう終わったの?」「〇〇より帰りが遅くなるなんて許せない」

せっかく身軽になったのです。再び再テストを溜め込むようなことはせず、今回のように周りの生徒を焦らせる存在であり続けてください。

何の宗教？

7年生の英語の授業後、9年生の教室に行くと「7年生元気だねえ、音読がよく聞こえていたよ」と言われた。「3人だけなんだけど」というと「3人であの大きさ? すごいねえ」と褒める。9年生もまだまだ若い! 念仏を唱えるような声で読むのではなくて、はつらつと声を出そうではないか。いつだったか、壁越しに音読の声を聞いていた生徒に「先生、隣の教室、何の宗教?」と訊かれましたよ。

